

# IHE 臨床検査国際会議報告

## 【概要】

2011年9月19日から3日間 IHE 臨床検査の国際会議が開催されました。

震災の影響により日本での開催が危ぶまれましたが、海外の IHE 臨床検査メンバーから「是非日本で開催したい」との後押しがあり、5月から9月に時期を変更し実現することができました。以下、開催内容について報告します。

- ・開催日時 2011年9月19日～21日
- ・開催場所 日立ハイテクノロジーズ本社（19日）、JAHIS 会議室 1,2（20～21日）
- ・参加国 アメリカ、フランス、ベルギー、イタリア、日本
- ・参加者 20名（内2名は電話参加）

## 【内容】

IHE 臨床検査の国際会議は2003年5月にイタリアのペルージャで第1回が開催されました。その後、日本、イギリス、フランス、アメリカなど地域ごとに持ち回りで開催され、今回の東京国際会議で通算16回目、日本での国際会議開催は2009年5月の京都以来で5回目となりました。

まず、リリース済み臨床検査関連プロファイルを図1に示します。

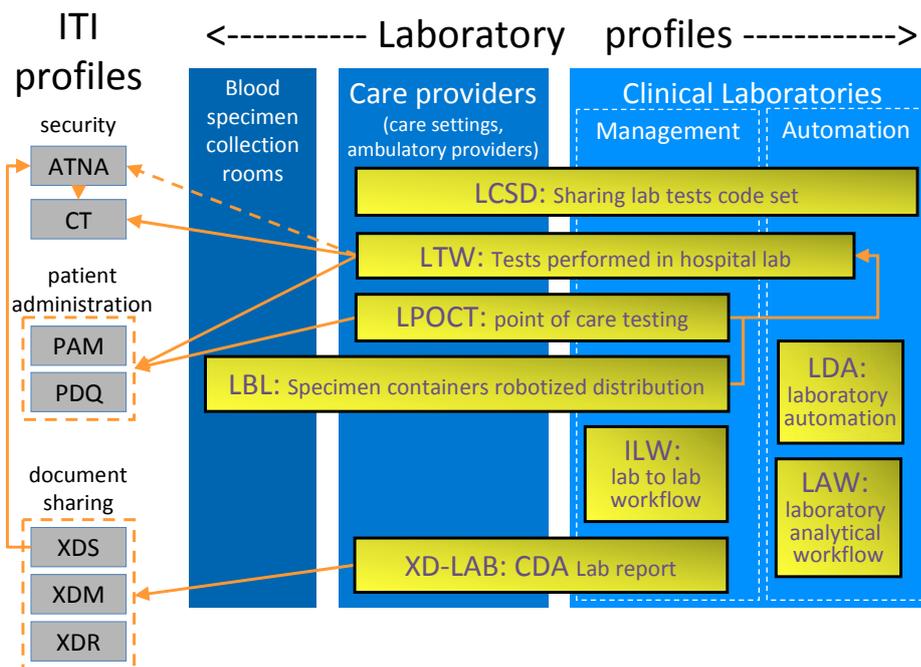


図 1 臨床検査プロファイル

そして、今回の東京国際会議の議題を以下に示します。

- ・LAW - Laboratory Analytical Workflow（自動分析装置プロファイル）ドラフト版レビュー
- ・LBL - Laboratory Barcode Labeling（採取管ラベル準備向けプロファイル）オプション提案
- ・LCC - Laboratory Clinical Communication（臨床・検査室コミュニケーション）新提案
- ・SET - Specimen Event Tracking（検体に関する事象のプロファイル）新提案
- ・CP - Change Proposals of Laboratory Testing Workflow レビュー

以下、主な議題に関する検討結果について報告します。

まず、海外と日本の参加者の中で活発な議論が交わされた LAW についてご説明します。今回の国際会議では LAW ドラフト版のレビューが行われ、参加者の合意を得ました。そして詳細部分のレビューを定期的な電話会議を重ね 2012 年 1 月にトライアル・インプリメンテーション版がリリースされています。LAW のトライアル・インプリメンテーション版は 2012 年にヨーロッパで開催されるコネクタソンで最初に実装される予定です。

次に、LBL オプション提案についてご説明します。提案は Label Broker から Label Information Provider へラベル貼り付けに関するステータスや容器を通知する内容でした。提案内容は合意され 2011 年 11 月にパブリックコメント版がリリースされ 2012 年 1 月に Published されています。この提案についても LAW と同様に 2012 年にヨーロッパで開催されるコネクタソンで実装される予定です。

その他、病院情報システム (HIS: Hospital Information System) と LIS 間の検査オーダ更新に関わる LCC や検体トラッキングのための SET など新しいプロファイルの提案や、リリース済みテクニカル・フレームワークに関する変更要求のレビューが実施されました。



会議の様子



国際会議参加者

【引用文献】石井 尚実 JAHIS 会誌 50 号

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)

検査システム委員会 臨床検査システム専門委員会

(日立ハイテクノロジーズ株式会社、日本 IHE 協会臨床検査委員会)